

研究分野		授業科目名		科目責任者
生理系分野		病態運動生理学		花山 耕三
開講年次	共通／専攻／選択		単位数	
1～4	必須専攻		20	
目的				
機能障害の診断・治療における先進的な知見を得るために、種々の神経系、運動器系の疾患に関する病態運動生理学について研究テーマを選択し、高度専門的な診断・評価・治療を探究するべく研究を進める。				
授業到達目標				
(1) 神経筋生理学や運動病態生理学などの手法を用いて、機能解析ができる。 (2) 治療的側面への応用を検討し、実施することができる。				
授業計画				
月日	曜日	時間	担当者	授業内容
毎週	金	14:00 - 15:00	花山 耕三	嚥下運動、呼吸運動の解析方法とその臨床応用について
毎週	水	15:00 - 16:00	平岡 崇	上記解析手技の具体的指導、臨床応用に向けた実験計画立案、具体的手順について
毎週	金	15:00 - 17:00	目谷 浩通 関 聡介	上記解析手技の具体的指導、臨床応用に向けた実験計画立案、具体的手順について
毎週	火	15:00 - 16:00	阿部 泰昌 山本 五弥子 新井 伸征	上記解析手技の具体的指導、臨床応用に向けた実験計画立案、具体的手順について
(1) 研究の計画書を作成し、UMIN 登録を行ったのち、倫理審査委員会に申請する。 (2) 倫理委員会の承認が得られた後、自己にて研究を遂行できる時間について計画し、遂行する。 (3) その成果は適宜、指導教員に報告するとともに、定期的開催される研究検討会で報告する。 (4) ほぼ完成した時点で、中間発表にて発表する。 (5) 追加実験を行い、論文を作成し、投稿する。				
評価方法				
(1) 1・2年次に中間発表へ出席する。 (2) 2年次に中間発表で発表する。 (3) APRIN e-ラーニングプログラム (eAPRIN) の必須単元を受講する。[受講期間：1年次に受講。] (4) 1週間ごとに実験内容を履修手帳にまとめ、科目責任者の認定印をもらい、学期ごとに提出する。				
課題 (レポート等) に対するフィードバック				
(1) 定期的な実験内容報告に対し、指導・助言を行う。 (2) 中間発表の発表準備に対し、指導・助言を行う。				
教科書				
ISBN-9784307750400, 神経筋疾患・脊髄損傷の呼吸リハビリテーションガイドライン, 日本リハビリテーション医学会 (監修), 金原出版, 2014				
参考書				
ISBN-9781560531098, Pulmonary rehabilitation : the obstructive and paralytic conditions, John R. Bach, Hanley & Belfus, Philadelphia, 1995				
準備学習 (予習・復習等)				
(1) 研究テーマについて、主要な論文、総説を通読し、その知見の概要を把握するとともに、現在のその分野の課題は何か考察しておく。(基礎知識や語学能力により、5～10 時間程度) (2) 予習復習ともに標準的には1時間程度を費やすことが望ましい。				
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連				
当該分野において卓越した研究成果をあげ、専門分野としての高い学識を獲得していると同時に、研究者としての高い倫理観を身につけていることにより、修了認定・学位授与の基準を満たすものとする。				
注意事項・メッセージ				
(1) 論文は英文誌への投稿を基準とする。(2) 国際学会への発表も義務とする。				